

## 2023年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年12月15日

上場会社名 株式会社イメージ・マジック 上場取引所 東  
 コード番号 7793 URL https://imagemagic.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 栗原 俊幸 TEL 03(6825)7510  
 四半期報告書提出予定日 2022年12月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年4月期第2四半期の業績 (2022年5月1日～2022年10月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第2四半期	2,655	△2.0	36	△89.3	36	△89.3	22	△91.8
2022年4月期第2四半期	2,709	—	341	—	339	—	267	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第2四半期	9.52	8.75
2022年4月期第2四半期	192.12	—

(注) 前第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第2四半期	2,202	1,286	58.4
2022年4月期	2,355	1,263	53.6

(参考) 自己資本 2023年4月期第2四半期 1,286百万円 2022年4月期 1,263百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年4月期	—	0.00	—	—	—
2023年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年4月期の業績予想 (2022年5月1日～2023年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,199	6.2	26	△91.5	25	△91.3	11	△95.3	4.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年4月期2Q	2,312,053株	2022年4月期	2,309,930株
② 期末自己株式数	2023年4月期2Q	33株	2022年4月期	33株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年4月期2Q	2,311,106株	2022年4月期2Q	1,391,528株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社は、「個性と創造性溢れる豊かな社会作りに貢献します。」を経営理念として、システムを活用したモノづくりのDX会社として事業を展開しております。

当社の展開するサービス内容としては、インターネットを利用して行うアパレルや雑貨を主とした商品へのオンデマンドプリントサービス、及びオンデマンドプリントの仕組みであるソフトウェアやハードウェアをアパレルメーカー、印刷会社などの事業者へ提供するソリューションサービスであります。

これらの実現のために、小ロット受注に対応したソフトウェアと、システムで制御できるハードウェアの開発を進め、ワークフローのDX化を推進しております。また、地球環境に対する負荷の低減に向けて、SDGsへの意識が高まるなか、当社も環境に配慮したモノづくりで社会に貢献できるよう努めております。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の流行がありながらも、まん延防止等重点措置は解除され各種イベントの開催が再開されるなど、一部持ち直しの動きがある一方、資源価格の上昇や急激な円安の進行による物価の上昇により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、オンデマンドプリントサービスでは、自社ECサイトの「オリジナルプリント.jp」について、Tシャツ掲載ページのリニューアルによる利便性の向上や、SEO対策によるサイト流入増に注力しました。

ソリューションサービスでは、前期から販売を開始したオンデマンド転写プリンター「Trans Jet」について、独自開発の日本製のインクを搭載することにより品質を改善し、拡販に努めました。

当第2四半期累計期間において、オンデマンドプリントサービスの売上高は2,441,467千円（前年同期比1.3%増）となりました。

また、ソリューションサービスの売上高は214,342千円（前年同期比28.3%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,655,810千円（前年同期比2.0%減）、営業利益は36,416千円（前年同期比89.3%減）、経常利益は36,228千円（前年同期比89.3%減）、四半期純利益は22,012千円（前年同期比91.8%減）となりました。

なお、当社はオンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

### （2）財政状態に関する説明

#### （流動資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,433,212千円となり、前事業年度末と比較して268,193千円の減少となりました。これは主に売掛金及び契約資産の増加59,895千円、仕掛品の増加16,306千円があったものの、現金及び預金の減少308,060千円、原材料及び貯蔵品の減少38,443千円があったことによるものであります。

#### （固定資産）

当第2四半期会計期間末における固定資産は768,934千円となり、前事業年度末と比較して114,594千円の増加となりました。これは主に有形固定資産の増加94,872千円によるものであります。

#### （流動負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は630,603千円となり、前事業年度末と比較して106,128千円の減少となりました。これは主に買掛金の増加64,419千円があったものの、その他の流動負債の減少81,693千円、未払法人税等の減少71,666千円によるものであります。

#### （固定負債）

当第2四半期会計期間末における固定負債は285,275千円となり、前事業年度末と比較して70,435千円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少50,676千円、リース債務の減少27,848千円によるものであります。

#### （純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は1,286,268千円となり、前事業年度末と比較して22,964千円の増加となりました。これは主に四半期純利益の計上22,012千円による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は647,885千円となり、前事業年度末と比較して308,060千円の減少となりました。

当2四半期四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、6,733千円（前年同期は219,404千円の獲得）となりました。

これは主に、減価償却費94,072千円、税引前四半期純利益36,639千円があった一方で、主に未払消費税等の減少を含むその他流動負債の減少88,783千円、法人税等の支払額78,528千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、203,242千円（前年同期は77,898千円の使用）となりました。

これは主に、工場の機械装置の積極的な設備投資による有形固定資産の取得による支出182,188千円、無形固定資産の取得による支出17,806千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、98,084千円（前年同期は141,682千円の使用）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出65,154千円、リース債務の返済による支出33,882千円があったことによるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年6月14日に公表しました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては本日（2022年12月15日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	955,945	647,885
売掛金及び契約資産	331,091	390,987
商品	102,529	81,650
仕掛品	30,308	46,615
原材料及び貯蔵品	208,069	169,625
その他	74,481	97,718
貸倒引当金	△1,020	△1,269
流動資産合計	1,701,405	1,433,212
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	276,746	333,647
その他(純額)	249,446	287,417
有形固定資産合計	526,192	621,065
無形固定資産	36,856	48,613
投資その他の資産	91,290	99,255
固定資産合計	654,339	768,934
資産合計	2,355,745	2,202,146
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	155,444	219,864
1年内返済予定の長期借入金	115,868	101,390
未払法人税等	101,293	29,626
賞与引当金	27,747	25,038
その他	336,378	254,684
流動負債合計	736,731	630,603
固定負債		
長期借入金	225,864	175,188
リース債務	102,100	74,251
資産除去債務	27,746	35,835
固定負債合計	355,710	285,275
負債合計	1,092,442	915,878
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	301,236	301,712
資本剰余金	475,470	475,946
利益剰余金	486,669	508,682
自己株式	△73	△73
株主資本合計	1,263,303	1,286,268
純資産合計	1,263,303	1,286,268
負債純資産合計	2,355,745	2,202,146

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
売上高	2,709,478	2,655,810
売上原価	1,714,195	1,808,599
売上総利益	995,282	847,210
販売費及び一般管理費	654,043	810,794
営業利益	341,238	36,416
営業外収益		
受取利息	2	4
補助金収入	297	1,804
雑収入	491	485
営業外収益合計	791	2,294
営業外費用		
支払利息	2,922	2,089
その他	0	392
営業外費用合計	2,923	2,481
経常利益	339,106	36,228
特別利益		
受取補償金	47,021	—
有形固定資産売却益	—	1,315
特別利益合計	47,021	1,315
特別損失		
固定資産除却損	—	904
特別損失合計	—	904
税引前四半期純利益	386,127	36,639
法人税等	118,789	14,626
四半期純利益	267,338	22,012

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	386,127	36,639
減価償却費	82,740	94,072
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	248
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,744	△2,709
受取利息	△2	△4
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,315
補助金収入	△297	△1,804
支払利息	2,922	2,089
受取補填金	△47,021	—
固定資産除却損	—	904
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△149,152	△59,895
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△58,893	27,854
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	11,157	△1,301
仕入債務の増減額 (△は減少)	26,560	64,419
前受金の増減額 (△は減少)	△66,385	1,798
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	28,426	△88,783
その他	△28	△125
小計	210,411	72,088
利息の受取額	2	4
利息の支払額	△2,837	△2,102
補助金の受取額	297	1,804
補填金の受取額	47,021	—
法人税等の支払額	△35,490	△78,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	219,404	△6,733
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△62,843	△182,188
有形固定資産の売却による収入	—	5,207
無形固定資産の取得による支出	△11,656	△17,806
敷金及び保証金の回収による収入	41	—
敷金及び保証金の差入による支出	△3,439	△8,164
その他	—	△290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,898	△203,242
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△59,834	△65,154
リース債務の返済による支出	△14,608	△33,882
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9,000	952
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	23,760	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141,682	△98,084
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△176	△308,060
現金及び現金同等物の期首残高	574,334	955,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	574,157	647,885



（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率等に乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 2021年5月1日 至 2021年10月31日）

当社は、オンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間（自 2022年5月1日 至 2022年10月31日）

当社は、オンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。